

防災まちづくり大賞入賞

第22回 防災まちづくり大賞 表彰式



総務省消防庁主催第22回防災まちづくり大賞に、A.CITY自治会が入賞しました。「日本防火・防災協会会長賞」の受賞です。

この賞は、阪神・淡路大震災を契機に平成8年度に創設され、防災に関する優れた取組に挑戦している団体に贈られる顕彰制度です。創設以来272の団体・組織が総務大臣賞等を受賞しています。

平成29年度は全国89の団体がこの賞に応募し、17団体が受賞。広島ではなんと16年ぶり2団体目で未災地域では、初の受賞となります。表彰式は3月1日(木)に東京都内で行われ、総務副大臣奥野信亮氏より賞状と記念の盾が授与されました。式場には衆議院議員総理大臣外交特別補佐官河井克行氏、広島市東京事務所平山高成次長も足を運んでくださり、お祝いの言葉をいただきました。また意見交換会では元広島市副市長の西藤公司氏も同席され、就任当時の八木地区土砂災害についての対応や思い出をおうかがいし、大変意義深い授賞式となりました。

A.CITY自治会が防災を運営の軸に置いてから約4年が経とうとしています。住民からの防災士育成や具体的な避難訓練など、これからも地道な活動を行い、賞の名に恥じぬよう街の安心安全に寄与していく所存です。

これからの1ヶ月の行事予定

- 3月10日(土) 有価資源ごみ回収日
- 3月18日(日) 大塚公民館まつり
- 3月20日(火) 土砂災害防止法に基づく警戒区域等の指定についての説明会
- 3月24日(土) 有価資源ごみ回収日
- 3月25日(日) 自治会総会
- 4月 8日(日) ヒルズ&タワーズ管理組合理事会

A. CITY子ども会 ボウリング大会開催

2月24日(土)、ボウリング大会を行いました。

バスでA. CITYから出発。ミズガーデンに着くと、準備を終え今か今かとスタートを待つ子ども達。ゲームが始まると勢いよくボウルを投げ、喜んだり、おちこんだり楽しそうにしていました。中には100を超える大人顔まけのスコアをだしている子もいました。

ボウリングの後は、お楽しみのランチバイキング。思い思いのおかずをお皿にとってお腹一杯食べました。

最後は5年生から6年生へお礼の言葉、1年生・幼児からのプレゼントがありました。みんなのお世話をし、引っ張っていつてくれた6年生ありがとう。今年度の子ども会行事もこれで最後となりました。地域の皆様へ感謝いたします。ありがとうございました。



第23回大塚学区 卓球大会参加

平昌冬季オリンピックが閉幕した2月25日(日)、大塚小学校体育館にて小学生を含むA. CITY自治会の強者(?)23名が卓球大会に参加しました。

会場では至る所で「チョ・レイ」の音が響き渡り、熱い戦いが繰り広げられました。団体の部では、1チーム6名(ダブルス×3)で構成され、A. CITY自治会から3チームを含め、大塚学区の町内会・自治会から13チームがエントリーし、2つのブロックに分かれ総当たり戦での予選を行いました。

Aブロックでは、善戦むなしくCチームは6位でしたが、Aチームを含めた3チームが4勝2敗で並び、なんと！セツト奪取(勝利)数でAチームが2位通過となり、Bブロック2位チームと3位決定戦を行いました。ちなみにBブロックで善戦したBチームは5位に終わりました。3位決定戦では1対2で藤興園Aチームに惜敗!!4位となりましたが、A. CITY自治会の団結力を見ることができました。

また、小学生の部では、イーストの吉川諒哉さんが優勝、パレットの西田弦さんが準優勝と表彰台を独占!個人戦学生の部では、アーバンの河村拓真さんが準優勝と素晴らしい成績をおさめました。

これで今年度の体育部の行事は終わりましたが、卓球を含め体育部の競技に参加された自治会会員の皆さん!1年間ありがとうございました。そしてお疲れ様でした。引き続き来年度も参加のほどお願いします。



大塚公民館まつり

3月18日(日)に第5回大塚公民館まつりが開催されます。

公民館で活動しているグループの作品展示や体験コーナー・ステージ演奏が行われる予定です。

A. CITY自治会は、ANCの皆さまと一緒に、自治会はラーメン、ANCはハッシュドポテト・ベーコン串を販売します。

詳細については「公民館だより」をご覧ください。ご来場をお待ちしています。

賛助会員より

メリイホスピタルが4月よりオープンいたします。現在、メリイハウス西風新都内1階のやちよクリニックはメリイホスピタルへ移転となりました。

メリイハウス歯科クリニックはそのまま残ります。メリイホスピタルの診療科目は内科・リハビリ科地域の皆様一般診療がごさいます。皆様にとつて「あつて良かった」と思っていただけるよう、職員一同邁進して参ります。末永くよろしくお願ひ申し上げます。



連載エッセイ「咲くやこの花」 最終回く新しい光へ

「A・CITYまっぶ」と名付けた防災マップが全住区に設置されたこの日は、忘れがたい日になりました。自治会の指針改革の入り口まで道筋をつけ、活動の成果を形に残すと豪語したものの成功する根拠は皆無。自分でできることは何一つなかった私の前に、立派なマップがどんどん建てられてゆきます。感慨深いものがありました。ふと目をやると通りの向こうに老人会の仲間たちが見えます。

その中には2年前自治会長をやりなさいと後押ししてくれた友人の姿もありました。彼らは口々にマップの出来栄を讚え、私をねぎらってくれます。その時でした。記念写真を撮ろうとライターを覗いていた自治会の役員さんが、あ・・・と何かに気付いたように私に視線を戻しました。

「飯田さん、今日は3月11日ですよ」
心臓が跳ねました。

そうだ。あの日は今日だった。

意図的に合わせたわけではなかったのに、マップの設置日が、災害の恐ろしさとしてそれを凌駕する日本人の絆の深さを知らしめた東日本大震災の日であることに、私は天を仰ぎました。なんとというめぐり合わせ。あの災害と私のちっほけな思い付きを結び付けるの

はおこがましいことではありましたが、やってよかった、諦めなくてよかったと心の底から仲間たちに感謝の念が溢れだしました。

ついてきてくれてありがとう。
背中を押してくれてありがとう。

ありがとう、ありがとう、ありがとう。

隣には残りの人生で最も近いであろう友人たち。目の前には街づくりの意志を継いでくれる自治会スタッフ。空は薄く曇り、冷たい風が吹いていましたが、私の胸にはあたたかな陽ざしが広がります。そして雲の向こうに確かな光を見ました。それはA・CITYのこれからを柔らかなつよさで導く、一筋の糸のようでした。

道を開きはしましたが、この町は防災についても福祉についても、まだまだです。乗り越えなくてはならない具体的な課題が山ほどあります。

「安心・安全・住んでみたい街」は住民がつくらなければ誰もつくってはくれません。

しかし住民ひとりひとりが持っている、誰かをつなげるための優しい糸を、一本一本自治会と管理組合が協働して束ねていけばいい。束ねる努力を怠らなければ糸は自ずと太い絆になる。その絆が幾重にも重なればこの街はきつと大丈夫。50年後も100年後も、笑顔の花が咲き

誇る、やさしくつよく美しい街でありますよう願いを込めて、この連載を終わります。拙文に紙面をさいてくれた広報部のみなさん、そして何より読んでくださった方々にお礼申し上げます。1年間ありがとうございました。

平成29年度

自治会総会のお知らせ

日時：平成30年3月25日(日)
午前11時から

場所：管理センター大ホール

議案：①平成29年活動報告・会計報告

②自治会規約改定について

③平成30年度活動報告及び予算について

④平成30年度自治会役員・専門委員・顧問・事業部員選出について

今年も動画を使い、年間の活動をわかりやすく紹介します。皆様の出席をお待ちしております。

連載 《ヤマさんの防災コラム》

いつも心に防災を

防災仲間を集う

「防災士」を取得させていただきます。初めてわかりました。

「防災士とは特別な資格ではなく、身につけることで、地域をより安全に守る可能性を広げる、意識、知識、技能、行動力(リーダーシップ)が詰め込まれた資格」なのだということを……。だから、ひとりでも多くの方に、学んで、体験して、資格を取っていただいて、「安心・安全・住んでみたい街A・CITY」を築いていきたいと強く思いました。

しかし、資格取得には費用も、時間も必要です。簡単に進めることはできません。でも、いつ起こるかわからない災害に対して、準備を進めないわけにはいきません。

そこで、私たちA・CITYの防災士は、各住区に同志を増やして、街の安全を守り、防災力を向上させる行動を起こすことにしました。

「A・CITYを安全な街に育てよう。万が一被災した時は、その被害を最小限に食い止めて、住民の安全を確保しよう。」という意思を持った方を、見つけて、働きかけて、私たちが習得した知識、技能を共に学んで防災意識を高め合う「我が街防災リーダー養成講座」を展開します。

もし「一緒に防災に取り組みませんか？」と、私たちがお声がけしたら、正直なお気持ちをお話してください。

メジロはスズメより小さい黄緑色の小鳥で、目の周りが白い(これをアイリングといいます)のが特徴です。春には、ツバキやウメ、サクラの蜜を吸いに来たりして花の周りをチヨコマカと動き回る姿がよく見かけられます。冬場はほかの小鳥と一緒に小さな群れを作っていることもあります。毎年、天の原散策路周辺で繁殖しているようです。春から初夏にはヒナをみかけます。見分けやすい鳥ですが、この鳥をウグイスだと思っている人もいます。鳴き声は「チーチュルリー、チーチュルリー」といった感じの優しい声です。(パレット住区・勝尾)



防災士雑談記

VOL.3

防災士が不定期につぶやく防災のあれこれ

前号に続き火山の爆発による被災例の一つを紹介します。平成24年群馬県渋川市の金井東裏(かないひがしうら)遺跡で甲(よろい)を身に着けた人骨(成人男性)が発見され大きな話題となりました。この人物は古墳時代(今から約千五百年前)の榛名山の火山灰と軽石に覆われていたそうです。彼から3m離れて乳児、16m離れて成人女性、更に16m離れて幼児が発見されています。また、住居跡・祭祀を行った場所や人の足跡・馬の蹄跡など当時の暮らしを具体的に示すものも多く発見されています。突然の爆発により、逃げることもできなかったのです。平成3年6月に発生した長崎県雲仙普賢岳の火砕流と重なります。現在は、警報や避難勧告など行政から情報が発信されています。こうした情報を的確にとらえて身を守ることも大事です。

なお、昨年の2月にNHK番組「歴史秘話ヒストリア」謎の古代王 最後の戦い 日本のポンペイから探る」で金井東裏遺跡が紹介されています。



(フォレスト防災士・山田繁樹)

管理組合から

【アリーナ管理組合】

今年の冬は殊の外寒く、ようやく春の足音が感じられる今日この頃になりましたが、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと思います。

毎月開催の理事会におきまして、滞納対策、不具合箇所対策等の課題対応を行っていますが、この度、管理会社から、不具合箇所の一つとして、受水槽の中仕切り部分に漏水現象があるのでその対策が必要との指摘を受け、協議検討を行っています。

この受水槽は、IV番館の下にあり住区全体を賄っていて、長期修繕計画で2024年に付属配管等の取替工事を行うことになっています。

この度の指摘による改修工事としては、

- ①中仕切りの漏水箇所にパテを施し止水する
- ②中仕切り板全体を取り替える
- ③受水槽全部を更新する(この場合、貯水容量の減少耐震性能の向上、2槽式から2基式に変更等の措置を併せ行う)等がありますが、①②の場合、設置したメーカーが既に製造販売を中止し、部品調達及び修理工事ができず、また、行うにしても工事額が500万円以上と予想以上の額になりそうであり、③の場合仕様改善により機能性、効率性等は格段に向上しますが、工事額が1,500万円以上と高額になりそうであり、それぞれに問題があります。この件につきましては、早急な対策を必要とする事態にはなっていませんが、工事を行うことになった場合、多額な出費を要することも想定されますので、このような案件があるということで報告しておきます。